

重点的に取り組んだ活動・内容

項 目	実 践 状 況
1 実践1 【人権ビデオの視聴と話し合い活動】	・人権ビデオの視聴 発達段階に合わせたビデオ教材を活用し、学年や学級で話し合う機会を設けた。 1年「むしむし村の仲間たち」 2年「勇気のあるホテルととべないホテル」 3年「よっちゃんの不思議なクレヨン」 4年「声を聞かせて」 5年「いじめと戦おう！私たちにできること」「めぐみ」 6年「みんなの情報モラルⅠ アニメーションで学ぶ、ネット社会とルールとマナー」「めぐみ」
	成果 ・人権のビデオを視聴することで、人権に対する知識や考えを深め、共通理解を図ることができた。 ・人権メッセージを書くための手がかりとなり、具体的なエピソードなどを思い出しながら書くことができた。
	課題 ・人権ビデオでは、一部の人権にしか触れておらず、様々な人権についての理解が不十分なところがある。今後はいろいろな人権について知識や理解を深めていきたい。
2 実践2 【NO! いじめ集会】	・5・6年生児童による運営委員会を中心に「NO!いじめ集会」を行い、いじめについて考える場として企画した。 ・各クラスでスローガンと署名を作成し代表者が発表した。その後、学年掲示板に掲示し、保護者にも週案を通して、通知した。 ・スライドを準備し、朗読劇を行った。
	成果 ・各クラスでいじめをなくすためのスローガンを考えることを通して、児童一人一人がいじめや人権について考えることができた。 ・いじめについての朗読劇を行ったことで、どんなことがいじめになるのかを認識する場になった。
	課題 ・新型コロナウイルス感染症の対策をしながら、全学年で集会を行えたよい機会となった。今年だけで終わりにするのではなく、来年度以降も続けていく必要がある。